

# ベラルーシ公開情報とりまとめ

(12月25日～12月31日)

2024年1月11日  
在ベラルーシ大使館

## 【主な出来事】

- ルカシェンコ大統領は、ベラルーシへの核兵器の配備、及びウクライナ情勢に関し発言(12月25日)
- ポーランドが在留ベラルーシ人に対する外国人用渡航文書発給手続き簡素化を半年延長(12月29日)
- 2023年、欧州はベラルーシからの4万2,078人の不法越境を阻止(前年比31.9%増)(1月1日)

## 【ルカシェンコ大統領動静】

### ●ベラルーシへの核兵器の配備、及びウクライナ情勢に関する発言

12月25日、ルカシェンコ大統領は、露サンクトペテルブルクで開催されたユーラシア経済最高評議会に先立って行われた下がり会見において要旨以下を発言。

- ・核兵器は随分前に、全てがしかるべき所に、良好な状態で搬入されている。習熟のための訓練は毎日行われている。
- ・2024年はウクライナに関して解決する好機そのもの。この好機を活用しなければ破滅する。解決に向け、軍人が政治家に圧力をかけている。
- ・ウクライナに関して方をつけなければならず、現状は、我々にとってだけでなく、西側にとっても、ウクライナを失わないために好ましい状況。

(12月25日 大統領府)

### ●全世界70人以上の首脳、国際機関代表、宗教団体代表らに向けて、新年の祝辞を発出

・祝辞は、CIS諸国をはじめ、中国、北朝鮮、トルコ、ブラジル等各国に発出。欧州では、セルビアとハンガリーの2か国に発出。

(12月31日 大統領府)

## 【外交】

### ●対ベラルーシ輸出制限の拡大

(1) 韓国

- ・ベラルーシ及びロシアに対し、新たに682の商品の輸出を制限。
- ・追加品目には、建設機材、電池、工作機械、航空機

の部品等、軍事的に利用される可能性の高い品目や、2000ccを超える乗用車等が含まれている。

(2) 台湾

・ベラルーシ及びロシアに対し、2024年1月25日以降、新たに45品目の輸出制限を導入。

(12月26日 「ゼルカロ(鏡)」)

### ●ポーランドが在留ベラルーシ人に対する外国人用渡航文書発給手続き簡素化を半年延長

- ・ポーランド在留ベラルーシ人が、旅券の代替となる外国人用渡航文書の発給を、簡素化された手続きを通じて申請できる期限が2024年6月30日まで半年間延長。
- ・発給手数料は免除。これまで渡航文書を所持したことのない者も申請可能。ベラルーシでの旅券取得が不可能であることの証明は不要。

(12月29日 ポーランド政府)

## 【内政】

### ●国営「ミンスクトラクター工場(MTZ)」副社長及び「ベラルーシ自動車工場(BelAZ)」副社長に対し収賄によりそれぞれ11年の自由剥奪の実刑判決

(12月29日 ベラルーシ検察)

### ●12月29日現在の政治犯の数は1,455人

(12月29日 人権団体「ヴァスナ(春)」)

### ●当局は、チハノフスカヤ氏のYoutubeチャンネルを一時ブロック

- ・チハノフスカヤ氏の新年の挨拶の前に一時的にチャンネルがブロックされた。

(12月31日 人権団体「ヴァスナ(春)」、Pozirk)

## 【軍事・安全保障】

### ●ミンスク市内及び近郊における「ワグネル」駐留

・12月14日、内務省国内軍が公表した国内軍第3310部隊の活動を映した動画中で、「ワグネル」の旗が2度にわたって映し出された。同日、プリディバイロ・露国営TV「ロシア・トゥデイ(RT)」特派員は、「ワグネル」のマークと旗が第3310部隊で正式に登録された旨発信。

・22日、国内軍第3214部隊の写真による活動報告には、カルペンコフ内務次官兼国内軍総司令官が「ワグネル」と記されたワッペンをついた防寒着を着用した姿も含まれていた。翌日23日、アザリヨノク国営「首都テレビ(STV)」司会者は、同部隊の基地においてロシア国旗や「ワグネル」旗も掲揚されているとする写真を発信。

(12月14日 内務省国内軍、プリディバイロ氏「X」、  
22日 内務省国内軍、アザリヨノク氏 Telegram)

### ●2023年、欧州はベラルーシからの4万2,078人の不法越境を阻止(前年比31.9%増)

(1)12月25日～12月31日のベラルーシから欧州への不法越境の試み

- ・リトアニア国境警備局は少なくとも48人を阻止。
- ・ラトビア国境では不法越境は確認されず。
- ・ポーランド国境警備隊は少なくとも120人を阻止。

(2)2023年全体

・2023年全体では、上記3か国は、前年比31.9%増の4万2,078人の不法越境を阻止(リトアニア:2,644人、ラトビア:1万3,863人、ポーランド:2万5,571人)。

(12月26日～1月1日 Pozirk)

## 【経済】

### ●ペリコ国立銀行金融政策局長は、2024年のインフレ率は6%以下との見込につき発言

・同氏は、12月の2週目までのインフレ率は年間換算で5.4%であり、年末にかけて5.5%程度に増加する見込である旨発言し、2023年に予測されていたインフレ率最大7～8%という目標が達成されつつある旨強調。

・また、2024年のインフレ率は6%以下との見込につき発言。

(12月26日 国営「首都テレビ(STV)」)

### ●いわゆる「非友好国」からの禁輸措置の延長及び2品目のユーラシア経済同盟(EAEU)域外への輸出の制限

・12月26日付閣僚会議決定第934号により、「非友好国」からの禁輸措置を2024年12月31日まで延長。  
・同決定では、ベラルーシ産のリンゴ及びタマネギに関してEAEU域外への輸出を許可制にすることも規定。これは、ベラルーシへのポーランド産リンゴの輸入が制限されていることを踏まえたもの。上記2品目の輸出は、人道支援目的での輸出には適用されない。また、上記2品目のベラルーシを経由する国際輸送も対象外。

(12月27日 法律ポータル、「ゼルカロ(鏡)」)

### ●永住権を持たない外国人及び無国籍者が制限を受けずに就労できる職業のリストの拡大

・これまでの運転手、獣医、専門医の他、2024年1月からは新たにプログラマー、生産管理技士、エネルギー関連技師等を追加。

(12月27日 労働・社会保障省)

### ●2024年1月から教員の給与を引上げ

・1月1日より、児童美術学校や学童保育等を含む教育関係者の給与を15%引上げ。中学校及び専門学校の教員に関しては22%、管理職及び大学の教職員は5%引上げ。

(12月28日 教育省)

### ●ドバイ-ミンスク往復便の増便

・12月26日以降、「フライドバイ」は、ドバイ-ミンスク間の往復便を毎週火曜、木曜、土曜に就航。これにより、ドバイ-ミンスク間の往復便は週10回就航されることとなった。

(12月28日 国営ベルタ通信)

## ●2024年1月から価格統制制度の変更

・12月29日付閣僚会議決定第713号第4条により、価格の引上げは、同決定で規定される商品に関しては前月の0.3%以下、ビーツやジャガイモ、キュウリ、トマト、リンゴ等の商品は前年同月比3.5%以下とすることが定められた。指定された範囲内で販売価格を引き上げる場合は、国家機関の承認を受ける必要はない。  
(12月29日 法律ポータル)

## ●2024年2月から年金を平均10%増額

(12月29日 国営ベルタ通信)

## ●2024年共和国予算

・2024年共和国予算は以下のとおり。

収入 399億635万636ベラルーシ・ルーブル  
(約128億7301万米ドル相当)

支出 446億5,743万5817ベラルーシ・ルーブル  
(約144億562万米ドル相当)

・過去5年間で最も多い47億5,108万5,181ベラルーシ・ルーブル(約15億3,260万米ドル相当)の赤字となる。

(12月29日 法律ポータル、「ゼルカロ(鏡)」)

## ●高所得者に対する所得税の引上げ

・年収20万ベラルーシ・ルーブル(約6万4,516米ドル相当)以上の高所得者に対し、所得税を13%から25%に引上げ。

(12月30日 法律ポータル、「ゼルカロ(鏡)」)

## 【抗議勢力の動き】

### ●チハノフスカヤ民主勢力代表のベラルーシ人に向けた新年の祝辞

・連帯によって、我々は政治犯を解放することができるだろう。我々の団結によって、世界に新たな仲間を見つけることができるだろう。知恵によって、過ちを犯すことが少なくなるだろう。活力によって、我々はもっと笑顔になり、互いに支え合うだろう。そして最も重要なことは、我々国民の力のおかげで、我々は自由で独立したベラルーシへと一歩一歩前進していくことである。

(12月30日 チハノフスカヤ氏公式サイト)

## 【その他】

### ●ポーランド・ベラルーシ国境検問地点テレスポルで数kmに及ぶ乗用車の大渋滞の発生

・クリスマスシーズンを目前に、ポーランドから帰国するベラルーシ人が増加したことによるもの。  
・ポーランド側の情報によれば、乗用車の国境通過には平均20時間を要する。

(12月25日 「ゼルカロ(鏡)」)

### ●ベラルーシは「人間の自由度指数」で165か国中133位(前年は126位)

(12月26日 「ゼルカロ(鏡)」)

### ●リトアニアで居住許可証の交付や延長を申請するベラルーシ人の状況

・リトアニア内務省移民局は、毎日1万8,000件の居住許可証の交付や延長の申請を受け付けているが、そのうち20-30%がベラルーシ人である旨発表。  
・同国は2023年、ベラルーシ人1,099人に対して居住許可証の交付及び延長を拒否。うち、939件は、国家安全保障の脅威によるもの。

(12月26日 Delfi.lt)

### ●ウクライナ人のベラルーシ人に対する態度に関する調査結果

・12月8日から15日にかけて、ウクライナの「Democratic Initiatives」財団はキーウ在住の18歳以上の住民2019人に社会調査を実施。

・調査結果によれば、ベラルーシに対する態度に関して、「否定的」もしくは「どちらかというとな否定的」と回答した回答者は全体の78%に及んだ。

(12月28日 「ゼルカロ(鏡)」)

### ●当局は個人情報に変更されていないことを理由に独立系メディア「TUT.BY」のドメイン登録を抹消

・「TUT.BY」に関係のある複数のドメインを所有者していたチェルニャフスカヤ氏(同メディア創設者の娘)は、複数ドメインの登録抹消の通知を受けた。抹消の理

由としては、ドメインと結びつけられている個人情報の変更が反映されていなかったことが挙げられていたが、同氏によれば、当該情報の変更はなかった。

・「TUT.BY」は 2022 年 6 月に「過激派資料」に認定されており、2023 年 3 月には元幹部のゾロトヴァ氏及びチェキナ氏に対して 12 年の自由剥奪刑の判決が下された。

(12 月 29 日 「ゼルカロ(鏡)」)

●匿名ハッカー集団「サイバー・パルチザン」は、**国営ベルタ通信のウェブサイト**をハッキング

・「サイバー・パルチザン」は、ベルタ通信の内部資料、会計情報、従業員の個人情報等 90 ギガバイトの情報を抜き取ったと報告。

・同集団は、ハッキングを行った理由を、同通信が「ベラルーシ人の民意を、嘘と工作で独裁者の都合の良い方向へと誘導した」ためと説明。

(12 月 31 日 「サイバー・パルチザン」)

【統計等】

●2023 年にラトビア、リトアニア、ポーランドから査証免除でベラルーシを訪れた人数

・2023 年の上記 3 か国からベラルーシを訪れた人数は 41 万 3,387 人(前年は 38 万 4,986 人)。

・内訳は、リトアニアからの渡航者 24 万 5,524 人、ラトビアからの渡航者 12 万 5,397 人、ポーランドからの渡航者 4 万 2,466 人。

・ベラルーシは、ラトビア人及びリトアニア人に対する査証免除を 2022 年 4 月に、ポーランド人に対しては同年 7 月に開始した。

(12 月 30 日 国家国境委員会)

(了)